

令和8年度春季入学秋季募集 熊本県立大学大学院 環境共生学研究所  
博士前期課程 一般選抜(国際協力枠) 試験問題 専門科目 出題意図

【専門科目番号：12 専門科目名：建築設計・住空間計画学】

建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程においては、建築に関してより専門的に、本質的問い掛けを行い、自らが掲げた研究課題に取り組んでもらう。

このことは、学部生時の建築に関する建設技術や構法を学ぶだけではなく、建築のバックグラウンドとも言える建築の歴史や文化・思想の分野への学びを深め、自らの考えを磨き、高める必要がある。

そこで、建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程の入学試験問題としては、現代の建築思想に大きな影響を及ぼしていると考えられる、近代に提唱された代表的な建築論や建築的概念に関する理解度を問いたい。

建築は単なる「箱」ではなく、建設の技術の習得だけでは、建築を学んだとは言えない。建築とは、そこに人間が内在し、幸福で豊かな時間を過ごすことで初めて建築たり得ると考える。この意味では、近代の建築論の理解は、建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程の教育研究にとって必須と言える。

【専門科目番号：13 専門科目名：農村計画学】

問1 農村計画に関する基本的な用語の理解を問うた。

問2 外国人居住者の受け入れや共生のあり方の検討と実践は、都市、農村を問わず共通した課題であるが、特に、過疎高齢化が進む農山村地域においては、都市とは異なる効果と課題があり、地域の持続可能性の確保という観点から、その理解度と自身の考えを論理的に説明できるかどうかを問うた。

問3 人口減少が進んでいる農山村地域においては、復興をどのように実現するのかという課題とともに、地域の持続をどのように確保するのかという2つの課題を同時に解決していく必要があり、それに対する理解度及びそれを論理的に説明できるかどうかを問うた。

【専門科目番号：14 専門科目名：建築計画学】

問1 (1) 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「福祉住環境」のうち、介護保険制度の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。  
(2) 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「福祉住環境」のうち、特別養護老人ホームの基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。

問2 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「移動円滑化計画」の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。

問3 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「教育施設計画」の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。

問4 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「住宅計画」の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。

問5 建築計画学において重要な研究領域のひとつである「住宅計画」の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。